

発行所 産業新聞社
 東京本社 東京都中央区新川一丁目8番6号
 電話 03(5566)8770(代表)
 FAX 03(5566)8185
 大阪本社 大阪府市西区船場一丁目5番15号
 大電話 06(6443)8591(代表)
 FAX 06(6443)3828
 中部支社 名古屋市中区上町津一丁目4番12号
 電話 052(331)3371(代表)

大越工業

セミトレーラを追加

輸送効率の向上を図る

【須賀川】鉄スクラップ卸の大手、大越工業(本社 福島県須賀川市横山町、大越幸男社長)はこのほど、新

法バラ積み緩和車両(セミトレーラ)を1台追加導入し、輸送効率を向上させた。同車両は1台当たりの最大積載重量が既存車両より32%増える。昨年春にも同車両を2台導入した。積載能力の向上

によって搬送頻度を減らすなど輸送効率を向上させ、環境負荷の低減を進める考え。

金属スクラップに加えて自動車リサイクルを手がけ、リサイクル事業者として環境対応を強化しており、同社が取り組むISO14001活動では、CO₂排出量を毎年1%削減することを環境管理目標にかかげている。昨

年春の同車両の導入によってそれまで最大積載重量(正味)19・2トまでであったものが25・3トまで積載可能となり、3台分必要な輸送を2台分に減らすことが出来る。また燃費効率も高いため、CO₂削減に寄与している。

今回の導入で同車両は3台体制とした。荷台の材質はヘルテン鋼を使うことで強度を上げるとともに重量低減を図り最大積載能力を上げている。設備投資負担はかかるが、環境負荷の低減を重要視する。

一方で、従前のトラックは近隣地区への搬送に限定したことで機動力が上がり、より効率的な配送体制に転換した。いずれも自社便であるため、フレキシブルに対応できるのが特徴。エネルギー消費の多くを占める物流の生産性向上は引き続き環境面での課題であり、効率輸送をさらに進める方針。